## 安全安心な処分場の埋立物・工法・構造 類型の現状と将来に向けた改善ポイントとは

- ●環境汚染を生じない(生じに〈い)構造で「安心」が認知·保障される時代ではない
- ●埋立てられるもの・埋め立てられたものの管理を的確に行う

## 現状の類型化と問題点

- ●埋立物(産廃・一廃)と管理主体
  - ●公共関与·施設大型化
  - ●広域処分場
  - ●民間の独立性

長期管理(跡地利用含む)を見据えた 管理主体評価

- ●管理型·安定型·遮断型
  - ●不適正処分∶品目・業種では限界
  - ●どのような中間処理を経たか
  - ●搬入検査の改善

前処理に着目した埋立質の管理

## 埋立物の質と埋立後の状態からの類型(例) 埋立物の質 無機主体 有機物含有 -廃処分場 安定型机分場 (理想) 高度な無機化 邳 提案される 埋立時の状態 管理形態:丁法 無機物流出管理 封じ込め・水収支管理 · 大 巧 安定化促進型混合埋立 記 バイオリアクター型 旧来の処分場 局部的な固化など 産廃処分場 各種無機化物混合

## 長期間管理に向けたポイント

- ●跡地利用形態
  - ●類型と安定化状態に応じた適用
- ●廃止基準・安定化モニタリング
  - ●廃止するのか·半永久管理するのか



既存処分場改善のポイント

- ●容量増加(処分場再生)
- ●安定化促進
- ●遮水工の適正化
  - ●現状把握と目標